

都市ビジョンと 財政状況

令和4年10月
静岡市



目次

第1部 静岡市の都市ビジョン

プロフィール

アクセス、温暖な気候(交通、気候)	1
広域な市域、人口(面積、人口)	2
広域な都市圏の中心(静岡大都市圏及び商圏人口)	3
バランスのとれた産業の集積(産業構造、商業の集積)	4
地域に根づく企業(市内に立地する主な企業)	5

第3次静岡市総合計画

5大構想～世界に存在感を示す3つの都心づくり～

5大構想～生活の質を高める2つの仕組みづくり～

防災・減災、国土強靱化の取組

ひと・まち・しごと創生の取組

デジタル化の加速

脱炭素社会の実現

SDGs推進に向けた取組

新型コロナウイルス感染症対策

行財政改革の推進

第2部 静岡市の財政状況

決算

決算の概要(普通会計)	21
決算の推移(普通会計)	23
市税の状況	25
扶助費及び投資的経費の政令市比較	26
財政指標・健全化判断比率の推移	27
基金残高の状況	28

市債の状況

市債発行の推移(普通会計)	29
市債残高の推移(普通会計)	30
プライマリーバランスの推移(普通会計)	31

投資的経費の推移

財政の中期見通し

【表紙の写真(中央下「世界都市デー」に開催されたSDGユースサミットから時計回り)】

- ・日本有数の茶どころ 静岡の茶畑のティーテラス「茶の間」
- ・徳川氏・今川氏を中心とした歴史を伝え、魅力を発信する「静岡市歴史博物館」
- ・駿河湾の地下海水を使用し、陸上養殖でアニサキスフリーを実現した「三保サーモン」
- ・総売上129億5336万円(前年平塚開催比10.5%増)を記録したKIRINグランプリ2021
- ・伝統の工芸技術を未来へつなぐ「駿府の工房匠宿」(令和3年6月リニューアル)
- ・企業版ふるさと納税を活用し、新しい道の駅のカタチを目指す「トライアルパーク蒲原」
- ・静岡2大祭りである清水みなと祭りの「港かつぼれ総おどり」
- ・国の重要無形民俗文化財に指定された「静岡浅間神社廿日会祭の稚児舞楽」
- ・世界文化遺産の構成資産であり、国の名勝指定100周年を迎えた「三保松原」
- ・国内の繁殖管理をしている「レッサーパンダの聖地」静岡市

第1部 静岡市の都市ビジョン

プロフィール ～アクセス、温暖な気候～

交通環境

優位なアクセス環境

供用開始

- 中部横断自動車道(新清水JCT－双葉JCT間)
令和3年8月29日全線開通
(静岡、山梨両県庁間の所要時間が約70分短縮)
- 東海道新幹線
- 清水港[国際拠点港湾]コンテナ取扱量8位(令和3年度)
- 駿河湾フェリー「県道223(ふじさん)号」(清水港⇄土肥港)
- 東名高速道路、新東名高速道路
- 富士山静岡空港
- 日本平久能山スマートインターチェンジ



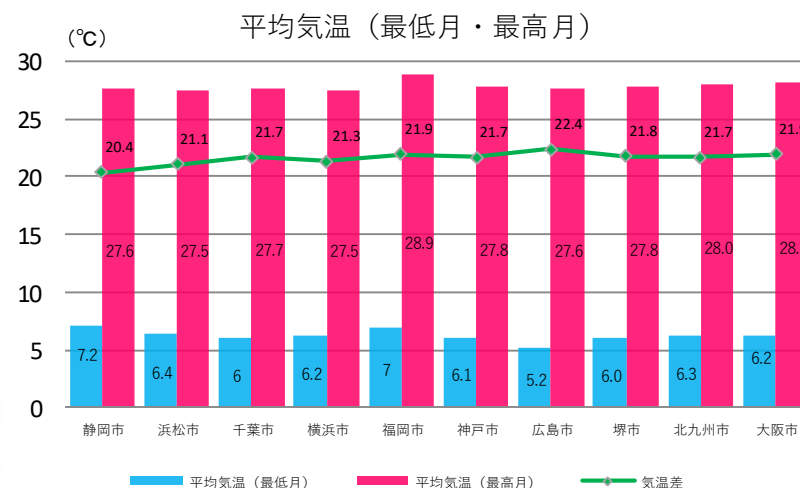
静岡市

気候(令和3年度)

温暖な海洋性気候、豊富な日照量

- 年間平均気温 17.7℃
- 年間平均気温差 20.4℃
平均気温の最低月、最高月の気温差が政令市中最も小さい
- 年間日照時間 2,304.4時間 政令市中2番目に長い
- 年間雪日数 2日 政令市中最も少ない

出典: 気象庁「気象観測データ」(令和3年度)



プロフィール ～広大な市域、人口～

面積

全国市区町村で6番目、
政令指定都市では2番目の広さ

- 市域面積 約1,412km²
- 都市計画区域面積 約 235km²



人口

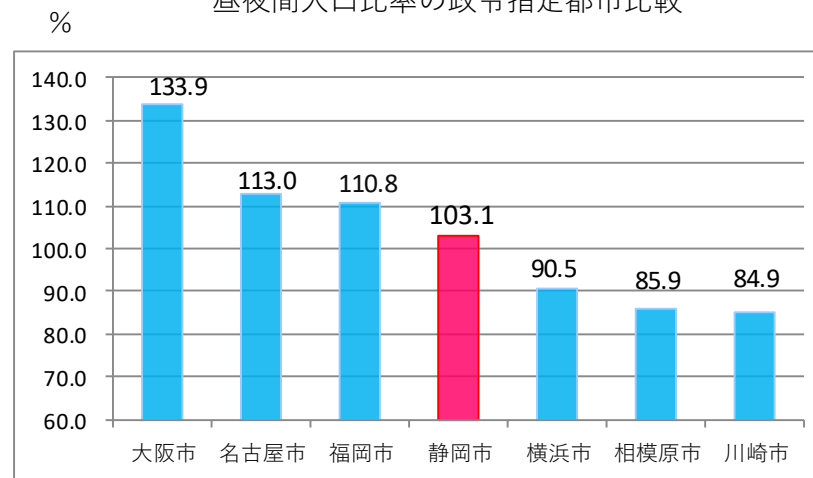
人口 685,164人
(住民基本台帳人口(日本人+外国人))

※令和4年9月末日現在

昼夜間人口比率 103.1
(政令指定都市中第7位)

※総務省「国勢調査」(令和2年度)

昼夜間人口比率の政令指定都市比較



静岡市

プロフィール ～広域な都市圏の中心～

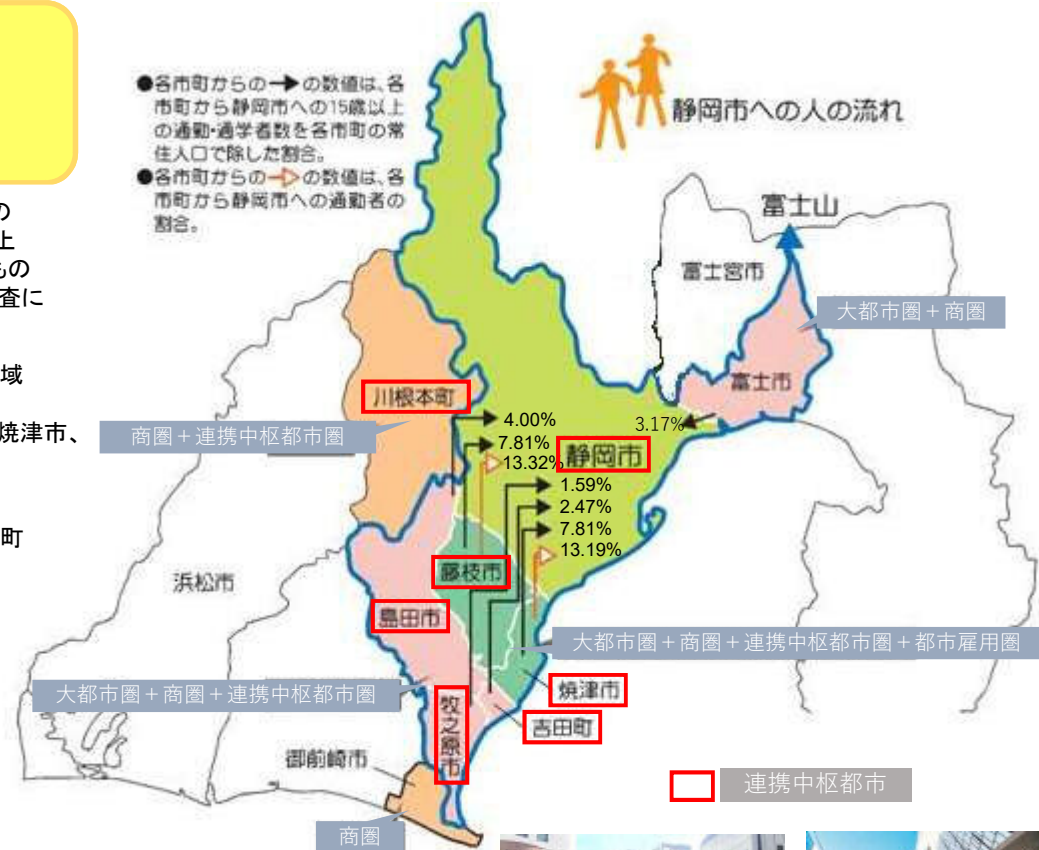
静岡大都市圏及び商圈人口

大都市圏人口 約139万人
商圈人口 約155万人

- ※大都市圏 中心市(静岡市)に加え、中心市への15歳以上の通勤・通学者が当該市町の常住人口の1.5%以上あり、かつ 中心市と接続している市町を加えたもの(大都市圏の範囲については、平成17年国勢調査における大都市圏に基づく)
- ※商圈 消費需要(購買力)の5%以上を吸引している地域
- ※連携中枢都市圏 静岡県中部5市2町(静岡市、島田市、藤枝市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町)
- ※都市雇用圏 通勤者のうち10%以上が静岡市に通っている市町

商圈の核となる中心区域に立地する主な大型商業施設

松坂屋	24,372㎡
静岡伊勢丹	21,525㎡
静岡パルコ	22,036㎡
新静岡セノバ	27,765㎡
マークイズ静岡	30,000㎡



資料：○総務省「国勢調査」(令和2年度)
○静岡県「静岡県の消費動向」(平成19年)
を基に算出



けやき通り、呉服町通り(葵区)



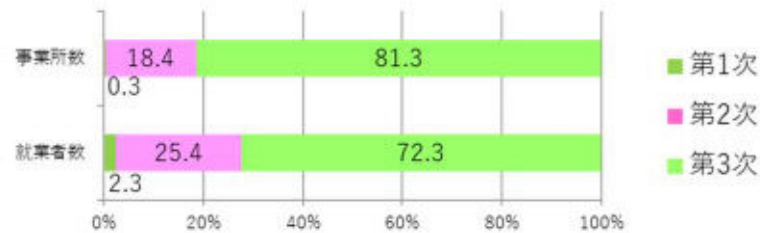
静岡市

プロフィール ～バランスのとれた産業の集積～

産業構造

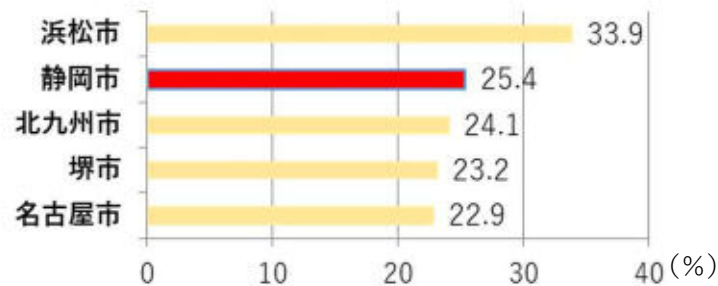
- 第3次産業の商業を中心とした都市
- 清水港周辺を中心とした製造業の立地が多く、第2次産業の割合も高い。
- 茶、みかんを中心とした第1次産業

事業所数・就業者数



出典：総務省「令和3年経済センサス活動調査(速報)」
「国勢調査」(令和2年)

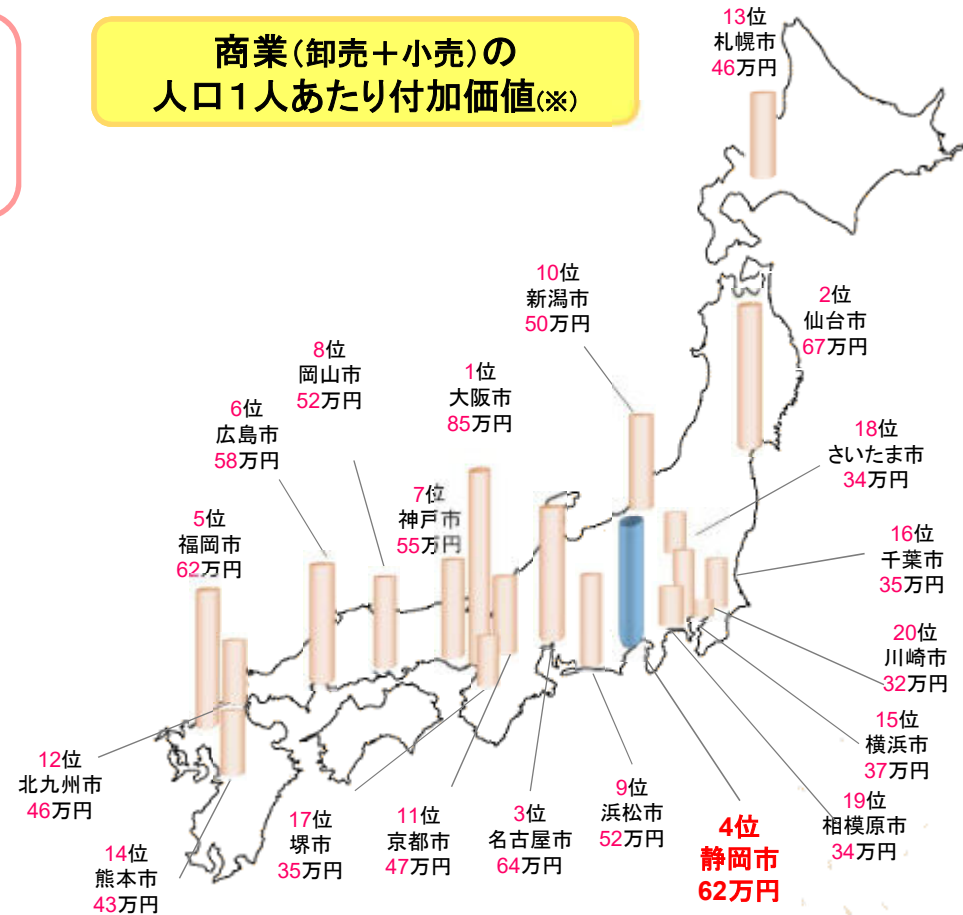
第2次産業就業者数 構成比



出典：総務省「国勢調査」(令和2年)

商業の集積

商業(卸売+小売)の 人口1人あたり付加価値(※)



※付加価値額：

「売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課」で算出され、商業における営業利益と人件費などの合計。
付加価値が大きいことは、顧客吸引力のある商業都市であることを表し、安定した雇用と税収が確保できる。

資料：総務省「平成28年経済センサス活動調査」、「国勢調査」(平成27年) より算出



静岡市

プロフィール ～地域に根づく企業～

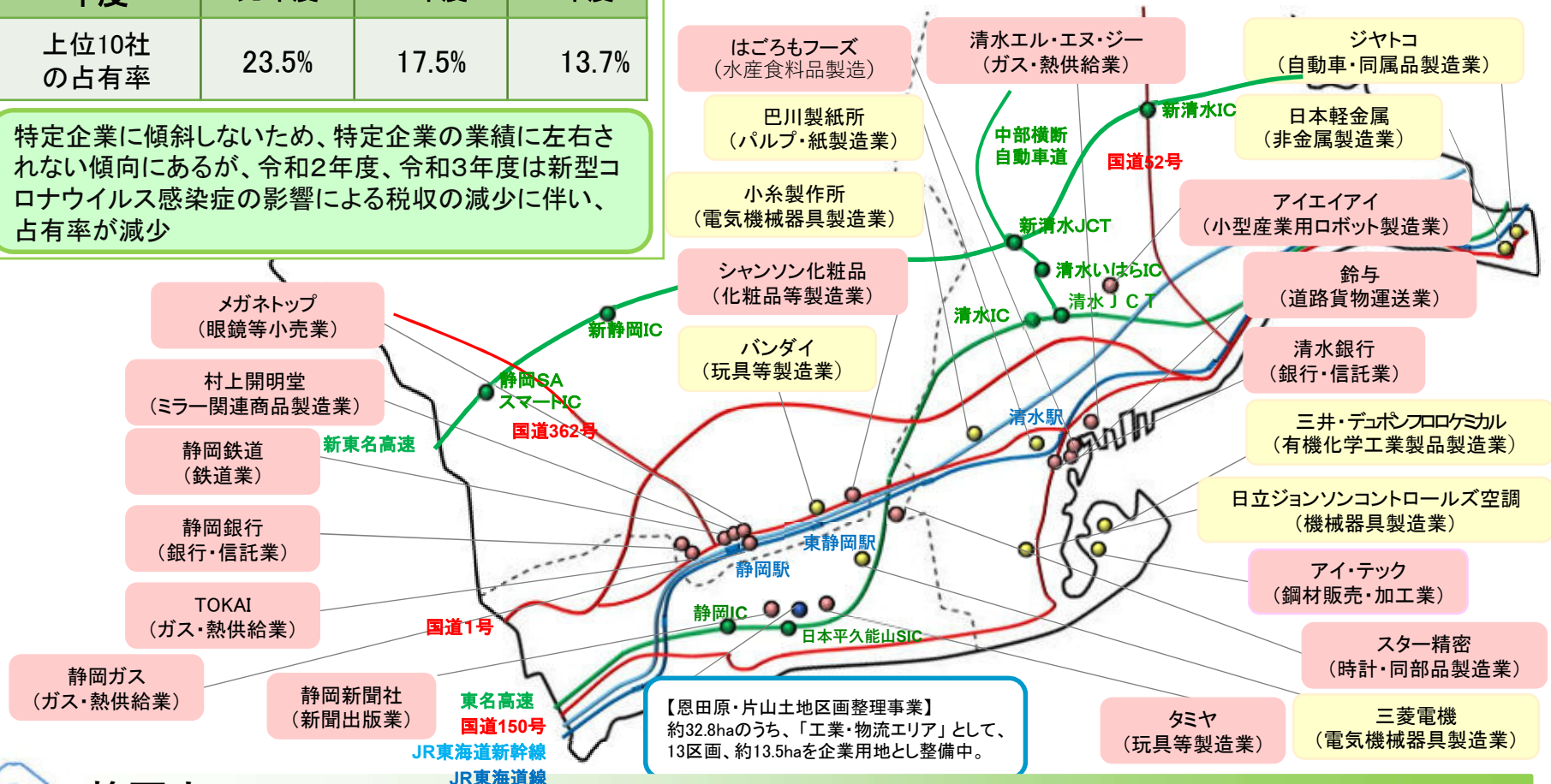
市内に立地する主な企業

法人市民税収全体に占める 上位10社の割合

年度	元年度	2年度	3年度
上位10社の 占有率	23.5%	17.5%	13.7%

特定企業に傾斜しないため、特定企業の業績に左右されない傾向にあるが、令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による税収の減少に伴い、占有率が減少

- 本社を置く企業
- 製造拠点を置く企業



静岡市

第3次静岡市総合計画（平成27年度～令和4年度）

3次総のまちづくりの目標 「世界に輝く静岡」の実現

平成27年度 重点プロジェクト（18政策）

「創造する力」による都市の発展（産業・経済の振興）

「つながる力」による暮らしの充実（安心・安全の確保）

歴史都市

- ① 400+プロジェクトの推進（駿府城公園エリアの整備等）
- ② 「東海道歴史街道」（二峠六宿）の推進
- ③ 三保松原の保全と活用

文化都市

- ① 東静岡・草薙地区の賑わい創出
- ② 清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進
- ③ 「まち劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

中枢都市

- ① 首都圏等からの移住・定住の促進
- ② MICEの推進等による交流人口の拡大
- ③ 戦略産業への支援・育成

健康都市

- ① 健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築
- ② 静岡型子ども・子育て支援の推進
- ③ 健康都市の実現に向けた基盤整備

防災都市

- ① 災害対応力の強化と危機管理体制の確立
- ② 浸水・土砂災害の拡充
- ③ 再生可能エネルギーの導入・普及促進

共生都市

- ① 多様な人々による共生
- ② 南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生
- ③ まちづくりは人づくり・シチズンシップ

世界を意識した都市ビジョンをわかりやすく整理

18政策 → 5大構想へ

平成28年度 5大構想

世界水準の都市「静岡市」を目指して

その都市に暮らす人々が「安心感」をもって生活を営むことができ、その都市を訪れる人々が「満足感」をもってひとときを過ごすことができる都市。この「安心感」と「満足感」を兼ね備えた世界水準の静岡市づくりに取り組みます。その原動力とするために強く打ち出したのが＜5大構想＞です。

世界に存在感を示す3つの都心づくり

歴史文化の
拠点づくり

海洋文化の
拠点づくり

教育文化の
拠点づくり

生活の質を高める2つの仕組づくり

「健康長寿のまち」
の推進

「まち劇場」
の推進

3次総と親和性のあるSDGsを
5大構想に取り込む

平成30年度



SDGs

世界共通のものさし
(2016～2030)



静岡市

5大構想 ～世界に存在感を示す3つの都心づくり①～

歴史文化の拠点づくり



徳川家康公が晩年暮らした駿府城公園周辺の魅力を高める取組を通じて、来街者の増加や地域活性化を図り、「平和都市・静岡」を世界に向けてアピール。

駿府城跡天守台発掘調査見える化・野外展示事業

駿府城天守台発掘現場の見える化を継続しながら、徳川家康と豊臣秀吉が関わったと考えられる天守台の迫力を間近に感じることができる日本唯一の野外展示として、遺構の保存と活用を両立させた整備を実施する。



発掘調査と野外展示

天守台野外展示
令和7年度 供用開始予定

歴史文化施設等整備・運営事業

歴史文化の拠点づくりの核として、徳川氏・今川氏を中心とした歴史を伝え、その魅力を広く国内外に発信する「静岡市歴史博物館」を整備し、城下町などの歴史を学ぶことで郷土愛を醸成する。



静岡市歴史博物館

令和4年7月プレオープン
令和5年1月グランドオープン

お堀の水辺活用事業

府中宿における新たな観光コンテンツの一つとして、駿府城公園の中堀において、舟で遊覧できる環境を整備。

水辺の活用による賑わい創出を図り、駿府城公園周辺への誘客を促進する。



中堀を遊覧する「葵舟」

令和3年3月27日より運航開始
令和3年度 利用者数6,498人

大河ドラマ活用推進事業

令和5年大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせ、大河ドラマ館を整備する。

全国から観光客を呼び込み、グランドオープンを迎える歴史博物館の誘客やプロモーションにつなげながら、市内周遊の促進や地域経済の活性化を図る。



改修予定の旧文化財資料館

令和5年1月 開設予定
(期間 放送開始から1年程度)



静岡市

5大構想 ～世界に存在感を示す3つの都心づくり②～

海洋文化の拠点づくり



清水港周辺に集積する行政や企業等が連携しながら、海洋関連産業の振興を推進し、交流人口の増加や地域の活性化を図り、「国際海洋文化都市」の実現を目指す。

清水駅周辺地区

清水駅東口と江尻港を中心に交通に恵まれた地区であり、桜ヶ丘病院（移転予定）や清水文化会館「マリナート」、駅西口の市街地と一体で清水区の中心を形成。新設するフェリーターミナルや、近接する河岸の市を活用し、賑わいの創出を図る。



江尻港（河岸の市）

新フェリーターミナル
令和6年度 供用開始予定

日の出地区（海洋文化施設整備事業）

「国際海洋文化都市」の実現に向け、世界に存在感を示す都心づくりを進めるため、地区の核となる（仮称）海洋・地球総合ミュージアムの整備を推進。



海洋文化施設整備イメージ

（仮称）海洋・地球総合ミュージアム
令和8年度 供用開始予定

新興津地区

新興津地区では、コンテナ埠頭とともに、JR興津駅から徒歩圏内の漁港や海水浴場である人工海浜、海釣り公園を整備し、釣り、飲食、スポーツ及び海水浴の利用促進を図る。



人工海浜整備イメージ

新交流施設
整備可能性調査実施（令和4年度）

産地・港湾連携型農林水産物・食品輸出促進計画

清水港からの農産物の輸出を促進するため、官民連携による施設整備や機能強化を推進。

中部横断自動車道の全線開通により、甲信地方にとって首都圏や中京圏に比べ、清水港へのアクセスが「近く、早く、安く」なるため、清水港を拠点とした港湾物流ネットワークの広域化を図る。



新興津コンテナターミナル

農産物の輸出を促進
農産物鮮度保持実証実験を実施（令和4年度）



静岡市

5大構想 ～世界に存在感を示す3つの都心づくり③～

教育文化の拠点づくり



大学が集積するJR東静岡・草薙駅周辺地区では、すべての人が高い教育を受けることのできる機会を創出し、多くの若者が集まり、交流が生まれるまちを目指す。

JR草薙駅周辺エリアマネジメントの推進

JR草薙駅北口駐輪場と一体となった北口広場など公共空間を「新しい生活様式」に対応した活用を実施し、学生が憩う居心地のよい場所を提供し、「文教地区」として、選ばれるまちを目指す。



草薙駅北口広場の活用

県内初 都市再生推進法人
(草薙カルテッド)による管理運営

「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業

「構想力(こ)」「行動力(こ)」「人間力(に)」を備え、市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材を育成するため、静岡シチズンカレッジを設置



静岡シチズンカレッジ

令和3年度実施講座 21講座
令和4年度実施(予定)講座27講座

東静岡「アート&スポーツ／ヒロバ」

第3次総合計画で文化・スポーツの拠点として位置付けた東静岡市有地(2.5ha)について、「賑わいづくりの実験場」として利活用するための基盤整備及びローラースポーツ、アート、ホビーイベント等の展開を推進。



「アート&スポーツ／ヒロバ」

ローラースポーツパーク
令和3年度利用者数
28,004人(前年比735人増)

環境保健研究所建設事業

検査機器等の増加に伴う狭隘化及び老朽化が著しい環境保健研究所を移転整備することにより、検査体制、調査研究機能及び情報発信力の強化を図り、市民の生活環境及び健康に関する安全・安心を確保



環境保健研究所

令和7年度 供用開始予定



静岡市

5大構想 ～生活の質を高める2つの仕組づくり①～

「まちは劇場」の推進



静岡に根付いた大道芸や演劇・音楽などの文化・クリエイティブ活動を活かし、「わくわくドキドキ」する、ここに暮らす誇りと喜びを感じることのできるまちに成熟させる。

賑わい創出イベント推進事業

大道芸ワールドカップ、富士山コスプレ世界大会など、様々なイベントを通じて、国内外から多くの人を訪れ、活発な交流が行われるまちの実現を目指す。

一年中フェスを楽しめるまちの推進
静岡まつり(春)
安倍川花火大会(夏)
清水みなと祭り(夏)
大道芸ワールドカップ(秋) など



大道芸ワールドカップ

ナイトツーリズム推進事業

日本平からの夜景をはじめとする夜の観光資源の充実を図るとともに、夜間イベントの内容を充実させるなど、本市の魅力をアピールし、夜の賑わいを創出。

駿府城公園エリア夜間景観整備事業
令和4年度 先行整備
巽櫓・東御門周辺
令和5年度以降 本格整備



日本平夢テラスの夜景

静岡市民文化会館再整備事業

開館から43年が経過した市民文化会館を、文化芸術の拠点として、ホール機能の向上や文化活動の支援機能を付加する再整備を行う。

令和8年度
建物工事完了予定

令和9年度
広場等完了予定



静岡市民文化会館

静岡市プラモデルプライドプロジェクト

「静岡市プラモデル化計画」に基づき、世界に誇る「プラモデル」等をテーマとした官民連携によるシティプロモーションを実施

街中にプラモニュメントを配置
・JR静岡駅南口
・ツインメッセ静岡
・静岡市役所 静岡庁舎 など5箇所



プラモニュメント

ON
STAGE
SHIZUOKA
まちは劇場



静岡市

5大構想 ～生活の質を高める2つの仕組づくり②～

「健康長寿のまち」の推進



人生100年時代を見据え、あらゆる年齢の人が住み慣れた地域で、いつまでも健康で人生を楽しむことができ、自分らしく暮らすことができるまちを実現する。

生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業

シニアをはじめとして地域の誰もが、健康でアクティブな生活や社会活動への参加などを通じて、生涯活躍できる環境づくりに取り組み、住み慣れた地域でできる限り健康で自分らしく暮らすことができる「健康長寿のまち」を推進。



地域・多世代交流型住宅

地域・多世代交流型住宅
4地区に開設(大和、東静岡、大岩、南八幡)

成年後見制度利用促進事業

認知症の高齢者が増加するなか、市民が認知症などにより判断能力が低下しても、地域で安心して自分らしく生活を営めるよう「静岡市成年後見支援センター」を開設。

同センターでは、市民後見人の育成とともに、相談機能の一層の充実を図る。

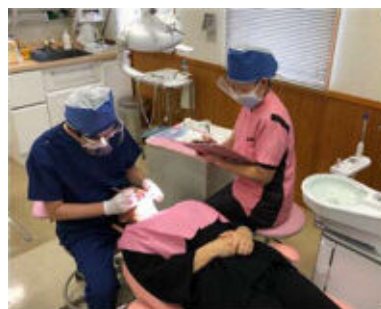


静岡市成年後見支援センター

令和3年度相談実績1,081件
(前年度比706件増)

はつらつスマイル推進事業

「感染症に負けない健康づくり」として、循環器や呼吸器など多くの臓器で慢性疾患の危険因子となり得る歯周病の対策をはじめ、歯と口の健康づくりを推進することにより、「健康長寿のまち」実現を目指す。



歯周病検診の様子(イメージ)

はつらつスマイルプラン
令和3年3月策定

認知症ケア推進体制整備事業

認知症に係る個別相談や専門機関との連携等を図るとともに、認知症予防を含めた認知症ケアの研修・研究等を行う産学官民が連携する拠点として、市内の中心市街地に認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」を開設。



認知症ケア推進センター

かけこまち七間町
令和3年度来場者数 1,822人



静岡市

防災・減災、国土強靱化の取組

強くてしなやかな静岡

大規模自然災害等に想定される最悪の事態を回避するため、致命的な被害を防ぐ「強さ」と迅速に回復する「しなやかさ」を備えた「強くてしなやかな静岡の実現」を理念とする。

消防救急広域体制の確立

平成28年4月の静岡地域3市2町(※)による消防救急広域化後、スケールメリットを活かし、消防体制の整備・充実強化を図ることで、地域の安全・安心を確保する。

※静岡市、島田市、牧之原市
吉田町、川根本町

広域化の成果(令和元年度評価)
災害出動(時間短縮等) 935件
現場要員の拡充 38名



消防総合情報システム

津波対策の推進

津波から安全で円滑な避難を図るため、津波避難ビル指定の推進や津波緊急避難場所が不足している地区に対し、津波避難タワー等の整備を実施。

津波避難タワー 全19箇所 整備
8,410人の避難スペースを確保
津波緊急避難場所 69地点
津波避難ビル 146施設



津波避難ビルの外階段設置

同報無線デジタル化の整備

災害時などに一斉に情報を発信できる同報無線は、整備から40年以上経過し老朽化が進んでいるため、機器を更新し、デジタル化に移行することで、可聴エリアの改善、文字伝達機能の付加、監視カメラによる現地映像のリアルタイムでの取得などを可能とした防災情報伝達手段を確保する。

令和8年度 全整備完了



同報無線の整備(イメージ)

浸水対策の推進

ゲリラ豪雨や台風に強いまちを実現し、市民の大切な生命と財産を守るために、浸水対策推進プランに基づき、河川改修や雨水ポンプ場を整備。

高橋雨水ポンプ場
令和4年7月供用開始



河川改修



静岡市

ひと・まち・しごと創生の取組

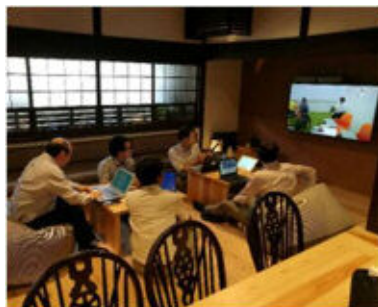
人口活力の維持及び持続可能なまち

移住、定住や交流人口増の取組を通じて新しい人の流れを呼び込み、地域経済の活性化・教育環境の整備・市民生活の向上など、魅力的なまちづくりを進め、人口活力の維持を図る。

まちごとテレワーク推進事業

テレワークの急速な普及とともに首都圏からの地方移住・企業移転ニーズが高まっている中、まち全体で移住促進体制を整え、テレワーク体験やお試し住宅、地域おこし協力隊の活用を通じて、移住や企業移転を促進し、関係人口の創出・拡大を図る。

令和3年度実績
お試し住宅 14組(36人)
お試しテレワーク 25社(35人)



テレワーク体験

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)の活用

企業版ふるさと納税を活用することで、寄附企業側のメリット(税制控除等)だけではなく、「静岡市まち・ひと・しごと創生推進計画」を推進していくうえで、寄附企業との連携を高め、地域課題の解決に向けた関係性構築を促す。

令和3年度受入実績 47,850千円



寄付を活用した
トライアルパーク蒲原の整備

オープンイノベーション推進事業

「産学官金」が組織の枠組みを超えて交流できる場を提供し、新たなビジネスチャンスや雇用、他業種とのマッチングなどが創出される交流・協創拠点(コ・クリエーションスペース)を運営することで、市内経済の活性化・持続的な経済発展を促す。

ICT支援員各校訪問回数
年間1,500回実施予定



コ・クリエーションスペース

「奨学金」を活用した若者の地方定着の促進

県外大学等への通学費の一部を貸与する「新幹線通学費貸与」や学資の貸与を行う「静岡市育英奨学金」を活用し、条件付きでの返還免除を実施することで卒業後の若者の地元就職を推進。

新幹線通学費貸与事業利用者の
地元就職率 65.6%(直近3カ年平均)



新幹線通学費貸与事業



デジタル化の加速

静岡市デジタル化推進プラン

令和3年度に策定した「静岡市デジタル化推進プラン」に基づき、行政のデジタル化を進めると共に、新たに地域全体の取組であるスマートシティなど、地域のデジタル化を推進。

スマートシティ推進事業

国の成長戦略の一環である「デジタル田園都市国家構想」を受け、今後、デジタル技術を活用し、様々な地域社会における課題解決と新たな価値を創出できる都市である「スマートシティ」の実現のため、スマートシティビジョンを策定予定。

令和4年度中
スマートシティビジョン策定予定



「スマートシティの実現に向けて」国土交通省資料から抜粋

ICT教育環境整備事業

静岡市GIGAスクール運営支援センターの設置し、ICT支援員による事業支援、研修支援、ヘルプデスク運営を通じて多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、資質や能力を育成するため、個別最適化されたICT教育を実施する。

ICT支援員各校訪問回数
年間1,500回実施予定



ICT支援員の活用

企業のデジタル化支援

「ITなんでも相談窓口」による中小企業の生産性向上に向けたIT導入・活用を図る支援や専門家による個社への伴走型DX支援事業を行い、地域経済の活性化を図る。

令和3年度支援件数 242件



ITなんでも相談窓口

静岡型MaaS(マース)基幹事業実証プロジェクト

官民連携で「静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト」を組織し、ICTによる公共交通サービスの高度化などの実証実験を重ね、MaaSの導入を行うことで、移動ストレスゼロ社会を形成し、過度に自家用車に頼らなくても暮らしやすい持続可能なまちを実現する。

令和6年度MaaS実装予定



タクシー配車システム



静岡市

脱炭素社会の実現

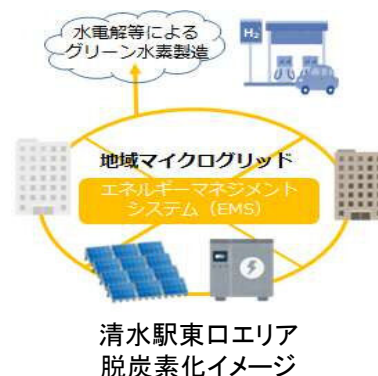
循環を基調とした環境都市の実現

地域脱炭素を成長の機会と捉え、市民・事業者・行政が連携し、脱炭素に資する取組を推進。また、地域脱炭素を経済と環境の好循環や暮らしの質向上等につなげ地方創生に貢献する。

脱炭素先行地域

脱炭素を通じて新たな価値と賑わいを生む「みなとまち しみず」からはじまるリノベーションとして、清水駅東口、清水港日の出、恩田原・片山の3エリアにおいて、各施設や遊休地等に太陽光、EMS等の導入を進める取り組みが脱炭素先行地域として選定された。

令和4年6月
第一回脱炭素先行地域に選定



エリートツリー・早生樹の森林づくり推進事業

成長が早く、二酸化炭素吸収効果の高い品種(エリートツリー)の試験植栽を行い、収集したデータを基に民間波及を図ることで、林業の成長産業化・カーボンニュートラル実現に寄与する。また、新たに活用が期待される早生広葉樹の生産により、地場産業の振興を図る。

エリートツリー 3,000本
早生針葉樹 3,000本 植樹予定

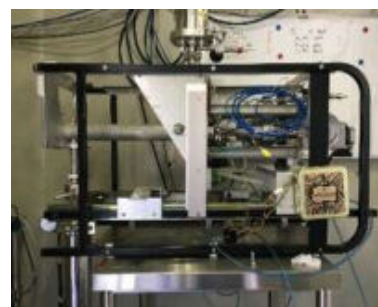


エリートツリー(イメージ)

グリーン産業創出支援事業

民間企業等が行う脱炭素化に繋がる技術革新や新商品開発などの取組が不可欠であるため、その支援を行うことにより民間企業等のグリーンに資する取組を加速化することにより、脱炭素社会の実現とともに民間投資やイノベーションを呼び起こす。

1件上限額5,000千円
3件支援予定



水素キャリア製造装置の開発

グリーン電力地産地消推進事業

地域が持つ資源を活かした再生可能エネルギー設備の導入拡大を図り、発電した電力を市域内で消費する先導的モデルを早期に確立していくため、PPAによる太陽光発電設備導入拡大事業を推進するなど、自然環境の保全を図りつつ、社会の持続的発展を目指す。

戸建住宅PPA支援 75件
産業用PPA支援 5件 支援予定



メガソーラーしみず



静岡市

SDGs推進に向けた取組

静岡市5大構想 × SDGs

第3次総合計画のまちづくりの目標である「世界に輝く静岡」の実現に向け、本市の最重要課題である「5大構想」をSDGsの視点を踏まえながら取組を実施。

「SDGsハブ都市」

平成30年5月の2018国連ニューヨーク本部SDGs推進会議で本市の普及啓発の取り組みが評価され、7月のハイレベル政治フォーラムにて、アジア初の「SDGsハブ都市」に位置付けられた。これを契機に「SDGs普及啓発」と国連と連携した「世界への情報発信」をさらに推進。

平成30年7月
SDGsハブ都市に位置付け



2018国連ニューヨーク本部
SDGs推進会議

SDGs連携アワード

事業所・団体間の「連携」したSDGsの取組について部門ごと表彰を行い、国内外へ取組を発信することで、事業活動に付加価値を生み出し、ポストコロナにおける持続可能な地域経済力の強化を図る。



SDGs連携アワード

令和3年度 応募件数 41件
大賞「SHIZUOKA STRAW PROJECT」

「SDGs未来都市」

SDGsを推進しようとする都市の中で、特に経済・社会・環境の3側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市として、SDGs未来都市に選定されている。

平成30年6月
SDGs未来都市に選定



SDGs未来都市選定証授与式

SDGsユースサミットの開催

国連の記念日「世界都市デー」にあわせ、若者がSDGsの活動を通じて、連携した具体的な取組を共有し、静岡市が持続可能なまちであるために必要なこと、自分たちにできることを考える。

第1回SDGsユースサミット(R3.10.31)
登壇者 10名 視聴者数 161名
第2回SDGsユースサミット(R4.10.31)
会場50名＋オンライン300名開催予定



第一回SDGsユースサミット



新型コロナウイルス感染症対策

2つの「Life(ライフ)」

市民の生命を守ることを最優先にした「生命(いのち)のLife」と、日常を取り戻すための「生活(くらし)のLife」という2つの「Life(ライフ)」を守るための対策を実施。

いのち
Lifeを守ろう

新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について3回目以降の接種や小児等の接種を推進、実施することで、感染拡大を防止し、市民の生命及び健康を守る。

接種回数人数(令和4年9月末時点)
1回目:569,760人 2回目:567,475人
3回目:464,154人 4回目:192,849人



ワクチン接種(イメージ)

福祉施設における新型コロナウイルス対策支援

高齢者や障がいのある方の「生命(いのち)のLife」を守るため、介護施設・障がい児者施設等における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策や必要なサービスを継続して提供できるよう支援体制を構築する。

簡易陰圧装置設置補助 5施設
障がい児施設経費等補助 49施設



簡易陰圧装置

くらし
Lifeを取り戻そう

地域経済の回復に向けた中小企業等への支援

「中小企業事業高度化助成」や「経済変動対策資金特別利子補給事業」を通じて、中小企業等の成長や発展、経営力の強化、事業継続を支援することで地域経済の回復を図る。

新型コロナウイルス感染症対策
特別利子補給事業
令和3年度実績:2,120件



事業高度化(イメージ)

地域経済の活性化と賑わいの創出

イベント開催を補助する「まちは劇場TRY'22開催事業」やイベントと商店街等を回遊させる「デジタルスタンプラリーキャンペーン事業」を通じてイベントの回復と持続化、交流人口の拡大と経済活力の再生を図る。

デジタルスタンプラリー
5月27日～12月25日(全3回開催)



まちは劇場TRY'22(静岡まつり)



静岡市

行財政改革の推進① ～これまでの行財政改革の成果～

第1次行財政改革の成果(平成17～21年度)

職員数の減
420人

効果額
392億円

第2次行財政改革の成果(平成22～26年度)

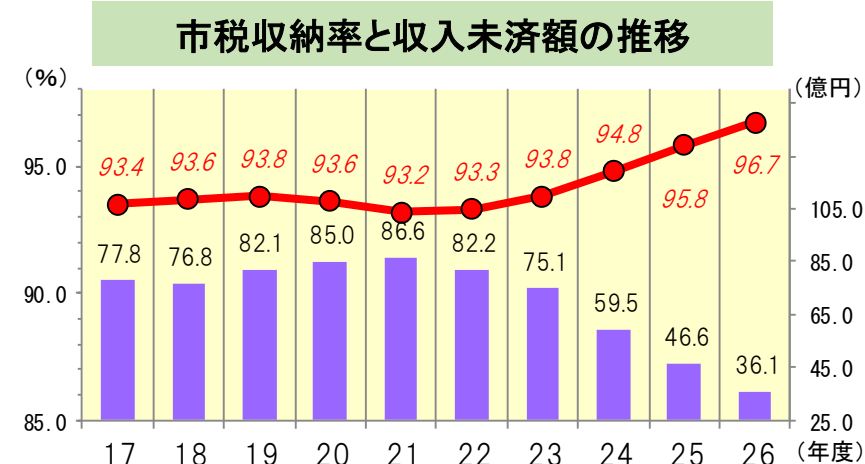
職員数の減
165人

効果額
555億円

対象項目

394項目

	効果額の主な内容	効果額
節減	給与制度改革・定員管理計画(人件費)	112億円
	事務事業の見直し・統廃合等	58億円
	補助金等の見直し	31億円
	民間活力の活用	24億円
	公共工事のコスト縮減等	236億円
収入増	未利用土地・建物等の売払い	25億円
	市税等の収納率の向上	11億円



<収納率向上への取組>

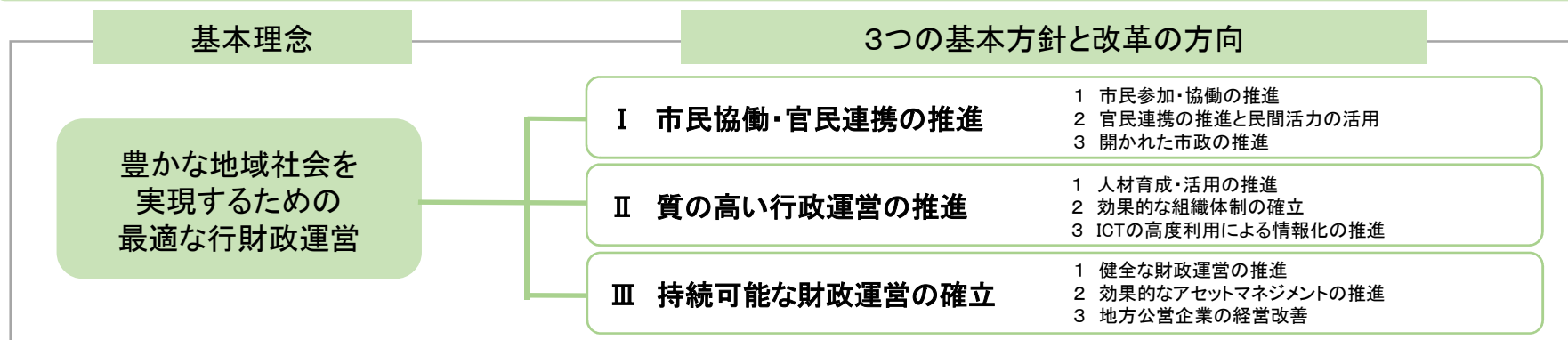
- ・滞納案件に対する早期対応の強化
- ・滞納整理事務スケジュールに沿った進捗管理の徹底
- ・専門部署を設け、不動産公売等を積極的に実施



静岡市

行財政改革の推進② ～第3次行財政改革の取組と成果～

第3次行財政改革推進大綱(平成27～令和4年度)の概要



前期実施計画(平成27～30年度)及び後期実施計画(令和元～4年度)の主な取組と効果額

(単位:百万円)

年 度		前期実施 計画効果額	後期実施計画					主な取組内容
			R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 見込	合計	
収入増額	計画額	11,054	1,375	1,939	2,307	2,649	8,269	○市税等の収納率の向上 ○競輪事業から一般会計への繰入 ○未利用地等の売却の推進 など
	実績額	13,553	2,108	1,741	2,907	—	6,756	
削減額	計画額	8,894	587	1,017	1,979	2,585	6,169	○施設等廃止等による維持管理経費の削減等 ○事務事業総点検表、2次評価等による事業見直し ○予算要求時のシーリングによる削減等 など
	実績額	9,264	395	1,115	1,970	—	3,556	
将来負担 の軽減	計画額	6,669	1,385	1,409	1,389	1,379	5,562	○アセットマネジメントの推進 (道路橋りょうの適切な維持管理 など)
	実績額	6,676	1,398	1,355	1,379	—	2,753	
合 計	計画額	26,617	3,347	4,365	5,675	6,613	20,001	
	実績額	29,493	3,901	4,287	6,257	—	14,444	
	達成率(%)	110.8	116.5	98.2	110.2	—	72.2	



行財政改革の推進③ ～第3次行財政改革の取組と成果～

効果的なアセットマネジメントの推進

「静岡市アセットマネジメント基本方針」(H26.4策定)

基本方針1 総資産量の適正化

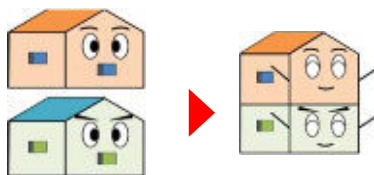
適正な施設保有量を実現するため
**2043年度までに公共建築物の
総延床面積を20%縮減。**

廃止



役割を終えた施設は…解体する

複合化



異なる施設を…一つの建物に

長寿命化



適正な維持管理の実施で…長持ちさせる

基本方針3 民間活力の導入

官民の役割分担を明確にし、**民間企業
等の持つノウハウや資金調達**により、
財政負担の軽減とサービス水準を向上。

民営化



民間へサービスを移管する

具体的な取組事例

飯田生涯学習交流館と飯田いほはら児童館の複合化(R3.7供用開始)

生涯学習交流館の移転新築に伴い、新たに
設置する児童館と**複合化**しつつ、建物全体の
規模の適正化を図った。

旧生涯学習交流館



新設



複合化

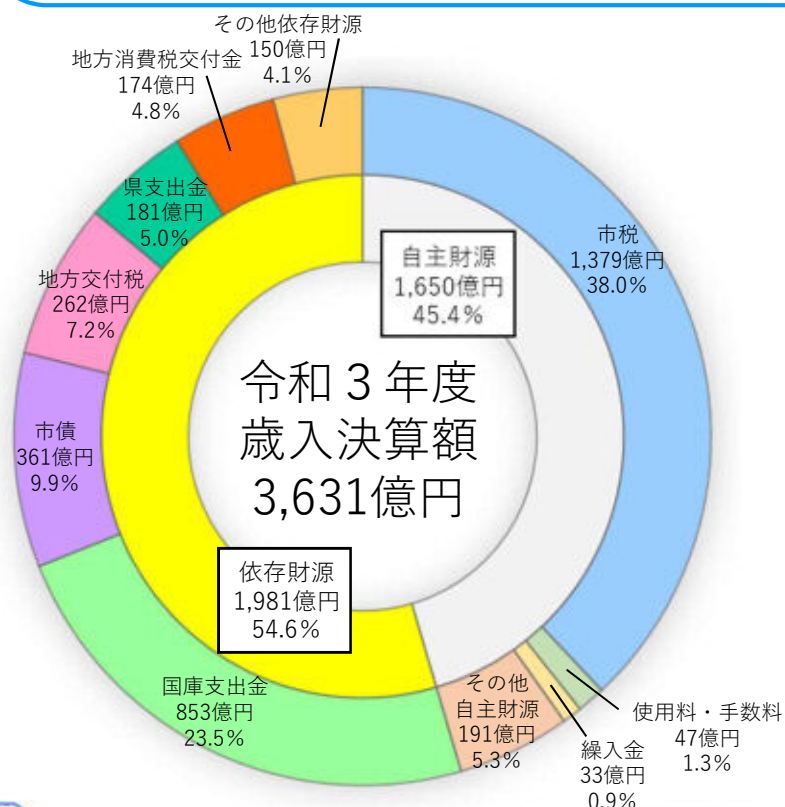


静岡市

第2部 静岡市の財政状況

決算 ～決算の概要(令和3年度普通会計決算 歳入)～

- 歳入決算総額は3,631億円、前年度比467億円(11.4%)の減。
- 市税は1,379億円で19億円(1.4%)の減。市債は361億円で61億円(14.5%)の減。
- 国県支出金は1,034億円で520億円(33.5%)の減。
- 地方交付税は262億円で83億円(46.4%)の増。



主な歳入の状況

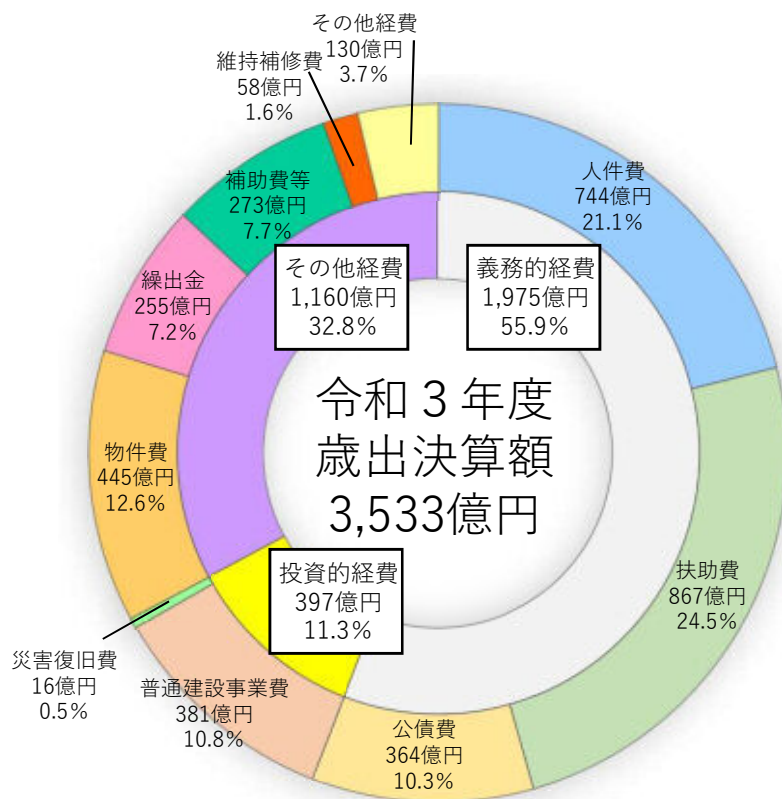
(単位:億円、%)

	令和3年度	令和2年度	増減	増減率
市 税	1,379	1,398	△ 19	△ 1.4
内、個人市民税	567	570	△ 3	△ 0.5
内、法人市民税	81	84	△ 3	△ 3.6
内、固定資産税	522	538	△ 16	△ 3.0
内、都市計画税	104	107	△ 3	△ 2.8
税 外 交 付 金	321	277	44	15.9
内、地方消費税交付金	174	160	14	8.7
地 方 交 付 税	262	179	83	46.4
市 債	361	422	△ 61	△ 14.5
国 県 支 出 金	1,034	1,554	△ 520	△ 33.5
歳 入 合 計	3,631	4,098	△ 467	△ 11.4



決算 ～決算の概要(令和3年度普通会計決算 歳出)～

- 歳出決算総額は3,533億円、前年度比481億円(12.0%)の減。
- 義務的経費は1,975億円で152億円(8.3%)の増。
- 投資的経費は397億円で76億円(16.1%)の減。



主な歳出の状況

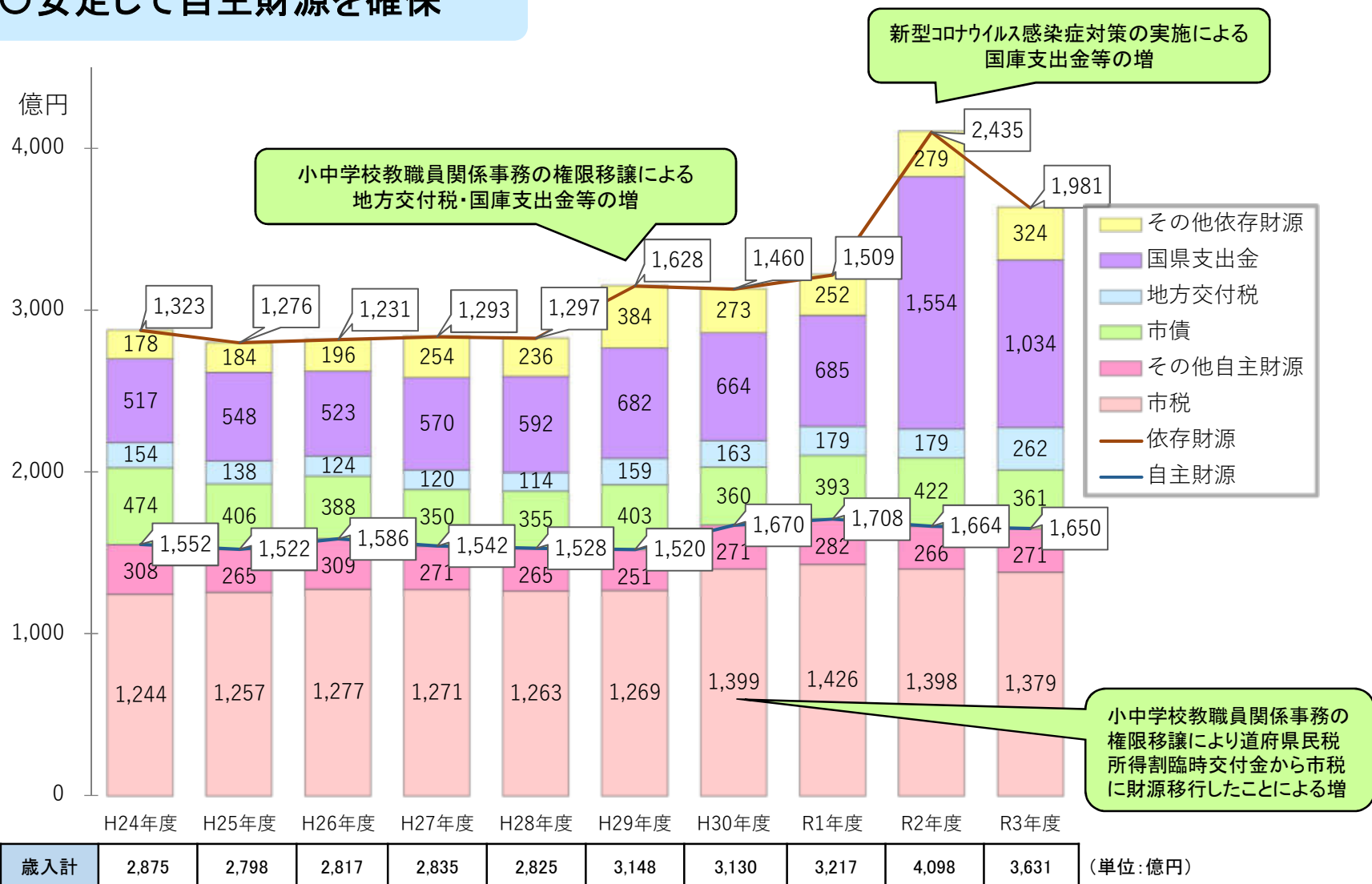
(単位: 億円、%)

	令和3年度	令和2年度	増減	増減率
義務的経費	1,975	1,823	152	8.3
人件費	744	740	4	0.5
扶助費	867	705	162	23.0
公債費	364	378	△ 14	△ 3.7
投資的経費	397	473	△ 76	△ 16.1
歳出合計	3,533	4,014	△ 481	△ 12.0



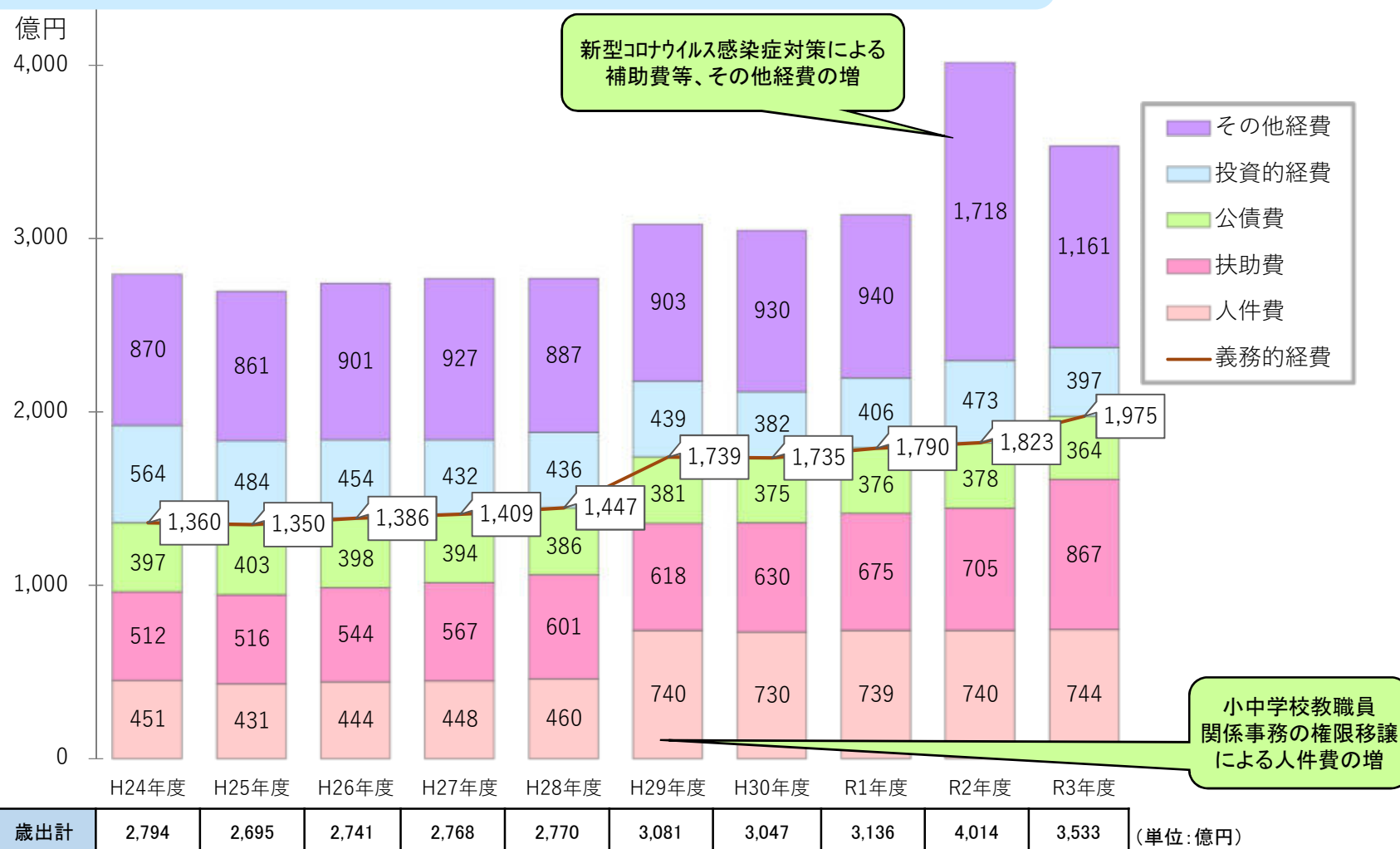
決算 ～決算の推移(普通会計 歳入)～

○安定して自主財源を確保



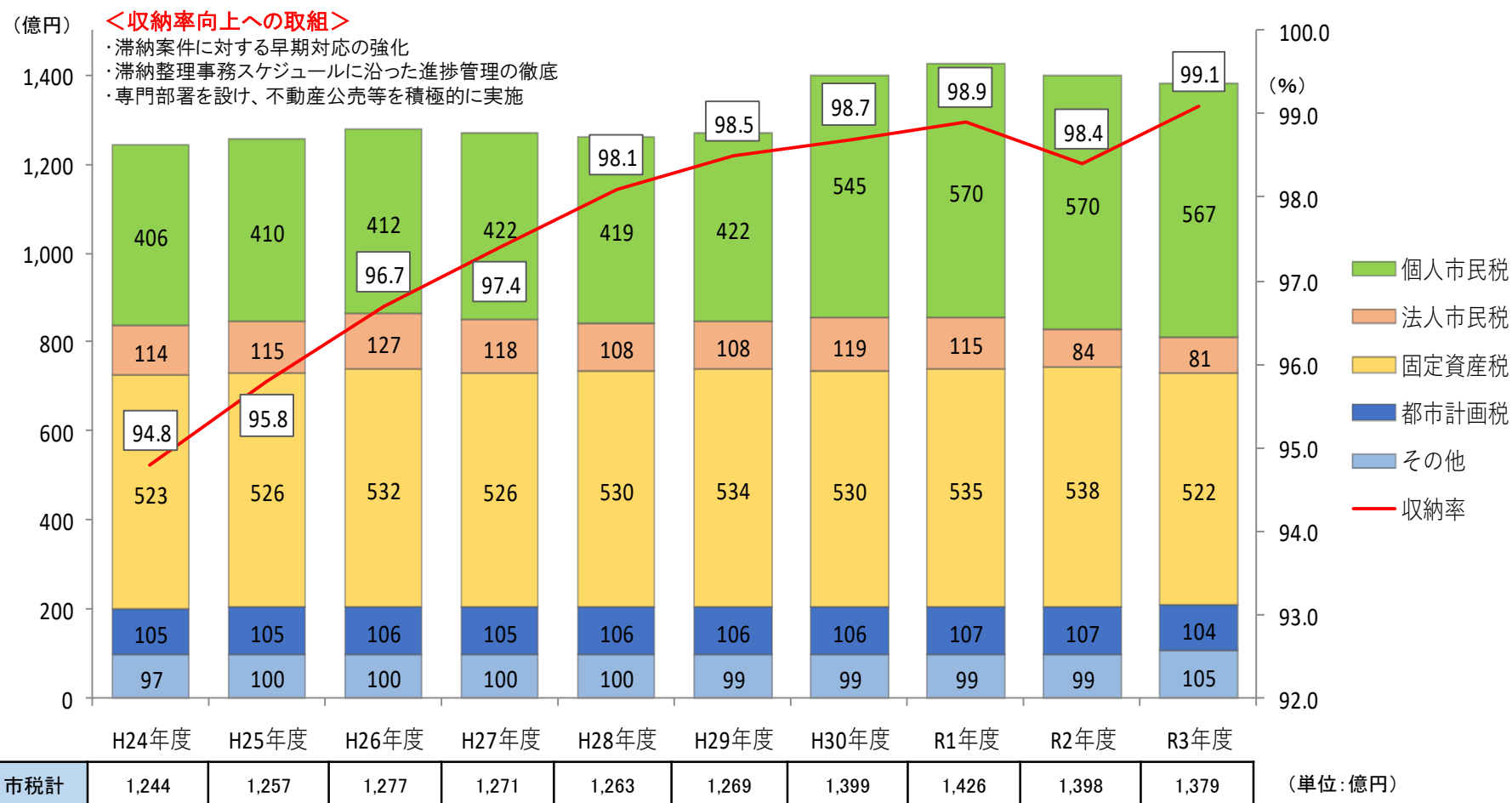
決算 ～決算の推移(普通会計 歳出)～

- 公債費及び人件費は横ばいで推移、扶助費は増加傾向。
- 投資的経費は平成25年度以降、概ね400億円台で推移。



決算 ～市税の推移～

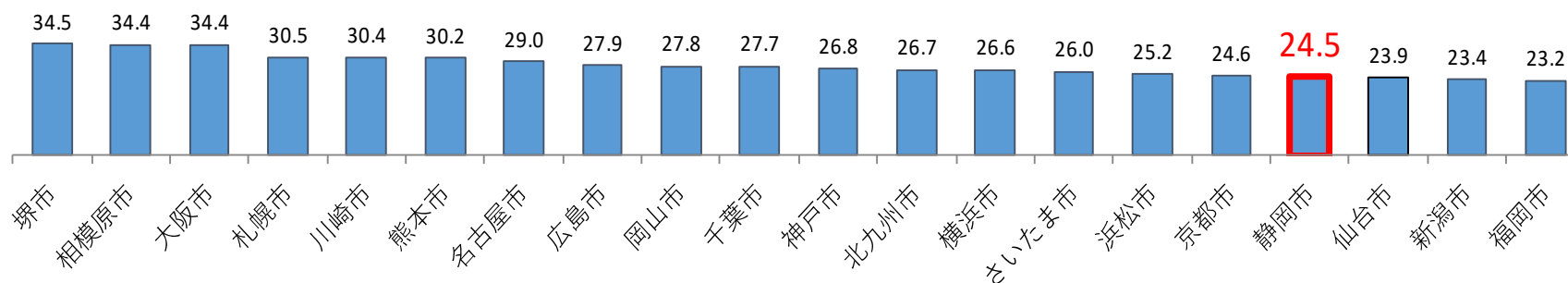
- 市税収納率は上昇傾向にあり、令和3年度は初めて99%を上回った。
- 令和3年度は、固定資産税の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による特例減免や法人市民税の税率引下げにより令和2年度より19億円減少。



決算 ～扶助費及び投資的経費の政令市比較(令和3年度)～

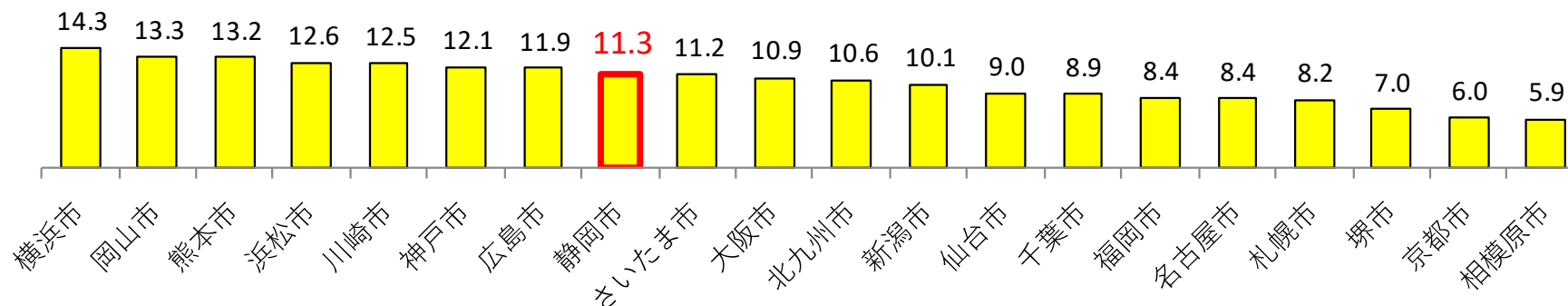
○歳出総額に占める扶助費の割合は、政令市中4番目に低く、投資的経費の割合は、政令市中8番目に高い。

歳出総額に占める扶助費の割合



歳出総額に占める投資的経費の割合

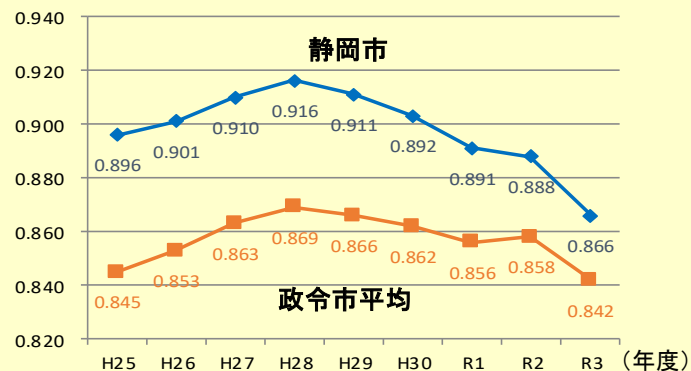
(%)



決算 ～財政指標・健全化判断比率の推移～

財政力指数

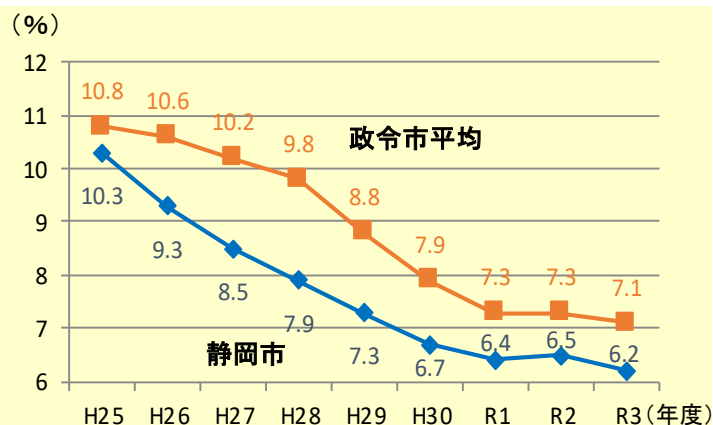
H28をピークに減少傾向だが、
政令市平均を上回っている。



(説明) 基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。数値が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きく、財源に余裕がある。

実質公債費比率

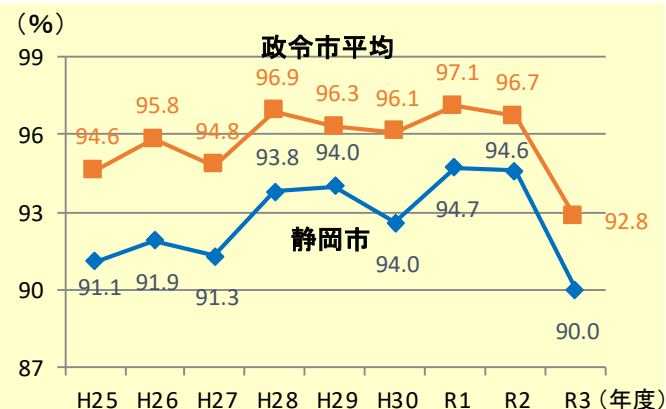
近年、減少傾向であり、
政令市平均を下回っている。



(説明) 1年間の収入に対する1年間に支払った公債費などの割合。数値が低いほど、公債費以外に活用できる資金が多い。

経常収支比率

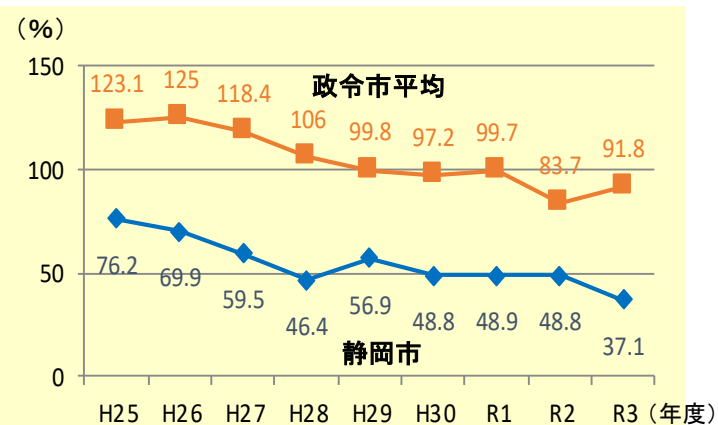
上昇傾向にあったが、R3は大幅に改善。
政令市平均を下回っている。



(説明) 市税などの経常的に収入される一般財源のうち、人件費などの経常的経費に充当されたものが占める割合。数値が低いほど、財政構造に弾力性がある。

将来負担比率

近年、減少傾向であり、
政令市平均を下回っている。



(説明) 1年間の収入に対する将来支払わなければならない公債費などの割合。数値が低いほど、将来への負担が少ない。

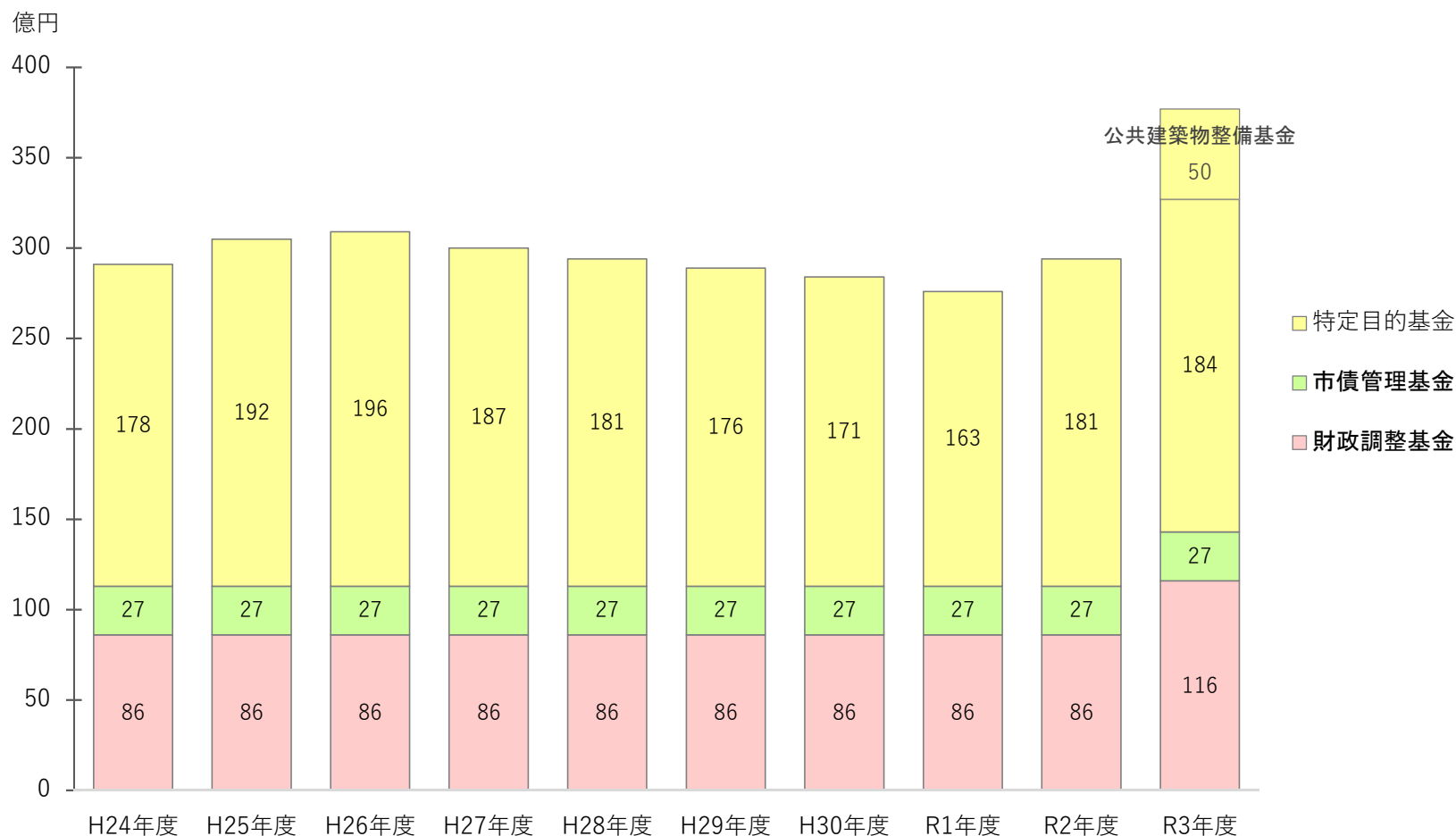


静岡市

基金の状況 ～基金残高の推移～

○安定して基金残高を確保。

○令和3年度は公共建築物整備基金の創設や、財政調整基金の積み増しにより増加。



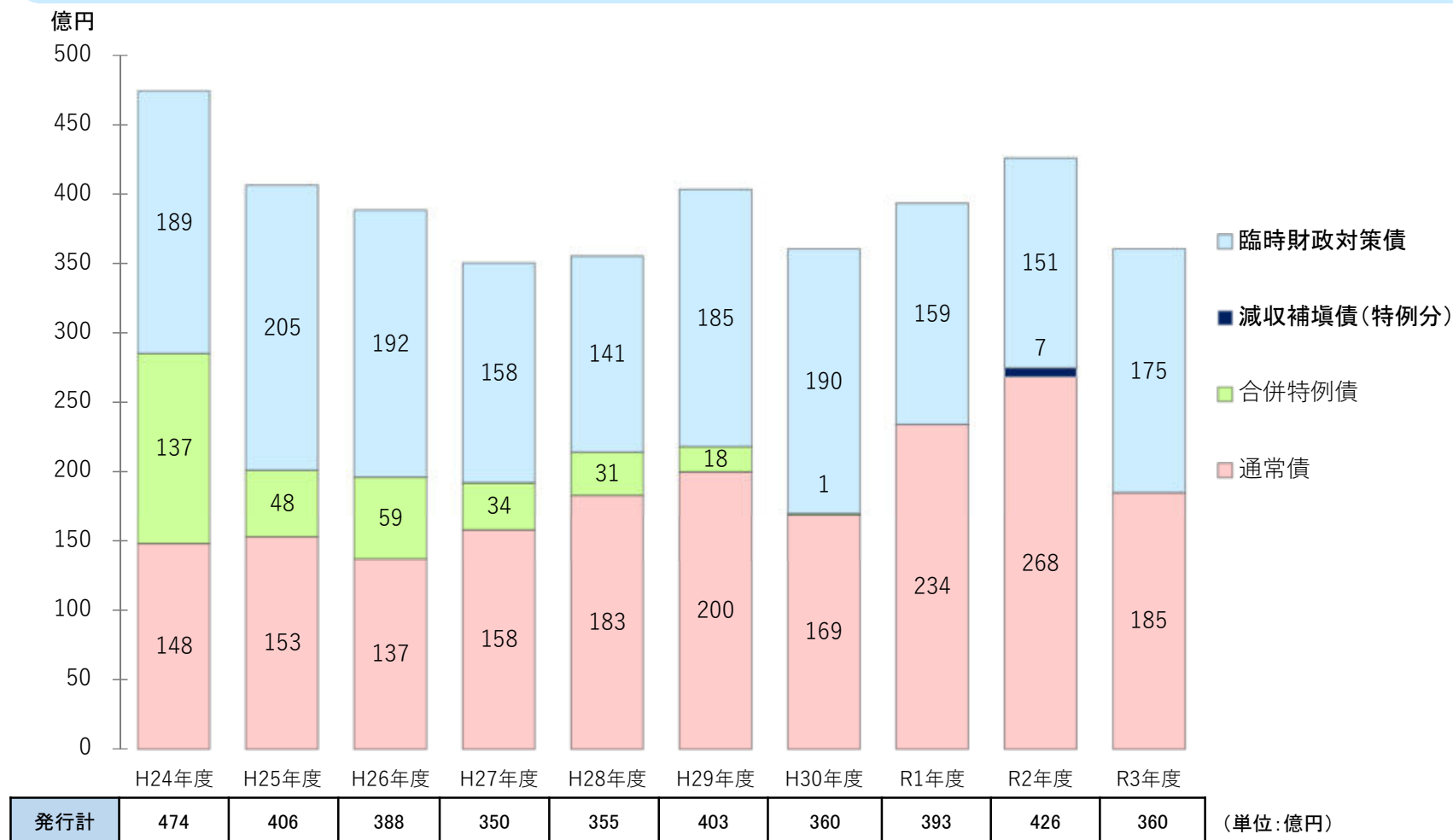
(単位: 億円)



静岡市

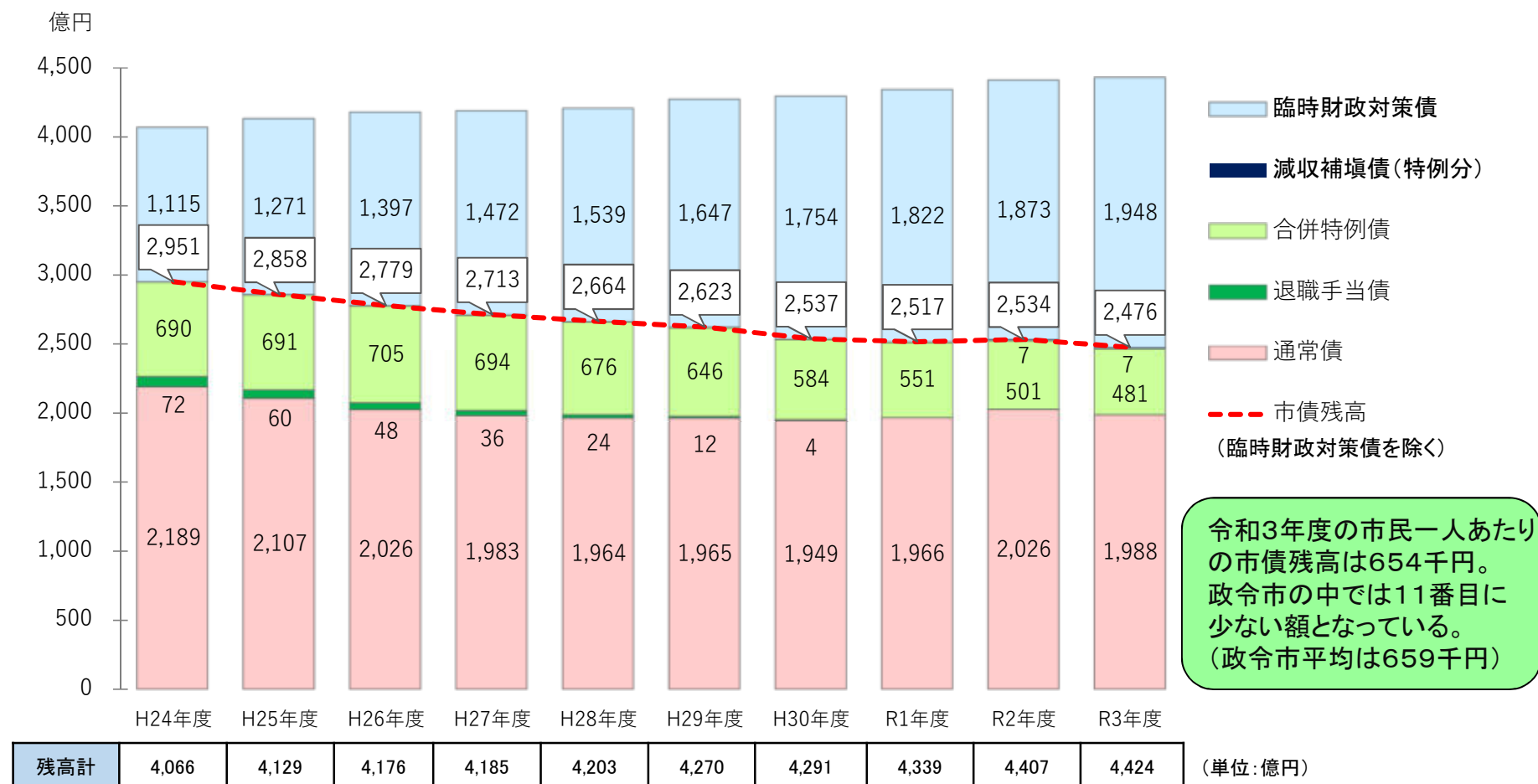
市債の状況 ～市債発行額の推移(普通会計)～

- 交付税措置のない市債の発行を抑制し、市債発行額を適正に管理。
- 令和3年度の臨時財政対策債を除く市債発行額は、小中学校建設債や消防施設整備事業債などの減少により令和2年度より90億円減少。



市債の状況 ～市債残高の推移(普通会計)～

- 臨時財政対策債の累増により、市債残高は増加傾向。
- 臨時財政対策債を除く市債残高は、適正な管理により減少傾向。

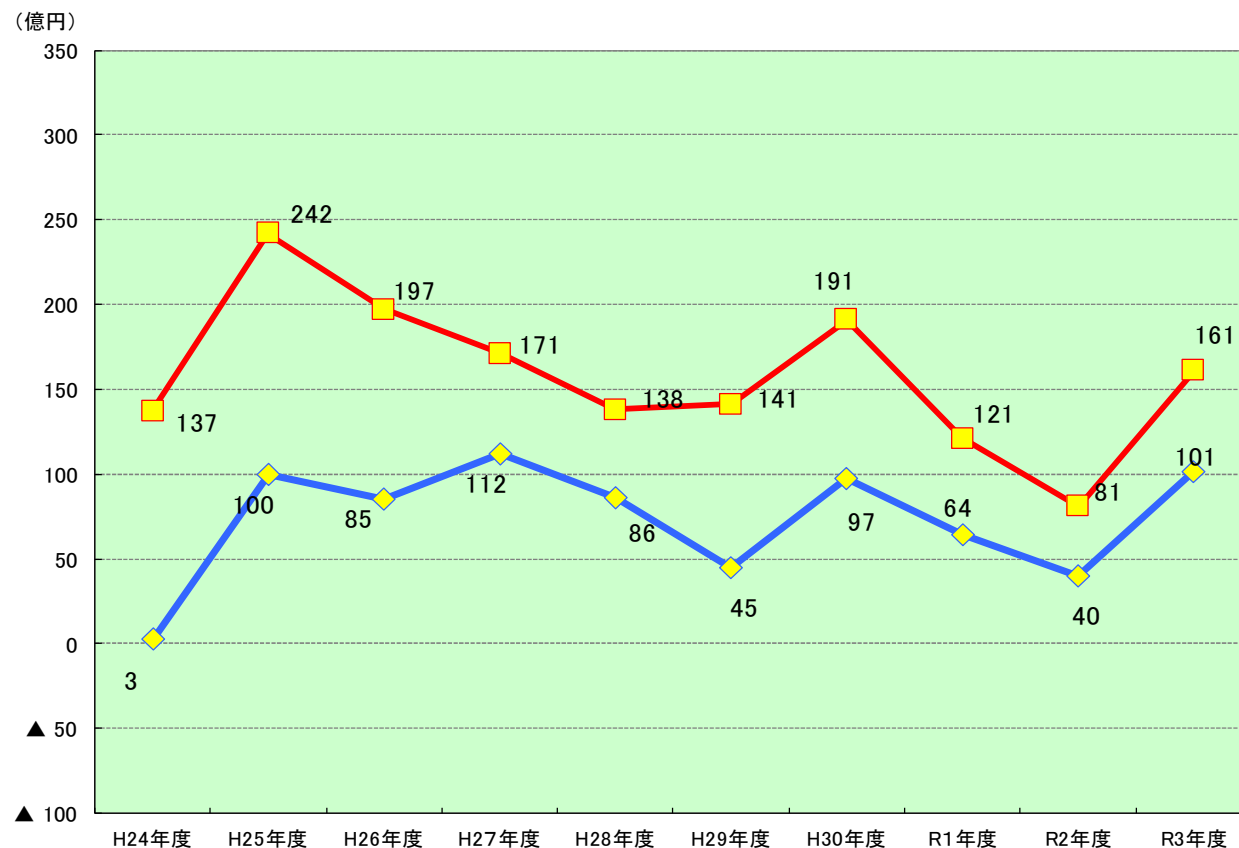


※満期一括償還方式で発行した市債の償還のための積立金は、償還したものとして市債残高から差し引いています。



市債の状況 ～プライマリーバランスの推移(普通会計決算)～

臨時財政対策債を含めても黒字を維持



プライマリーバランス(基礎的財政収支)とは、市債を除いた歳入と公債費を除いた歳出との差引額。

$(\text{歳入総額} - \text{市債}) - (\text{歳出総額} - \text{公債費})$

■市債に臨時財政対策債を含めない場合
■市債に臨時財政対策債を含む場合

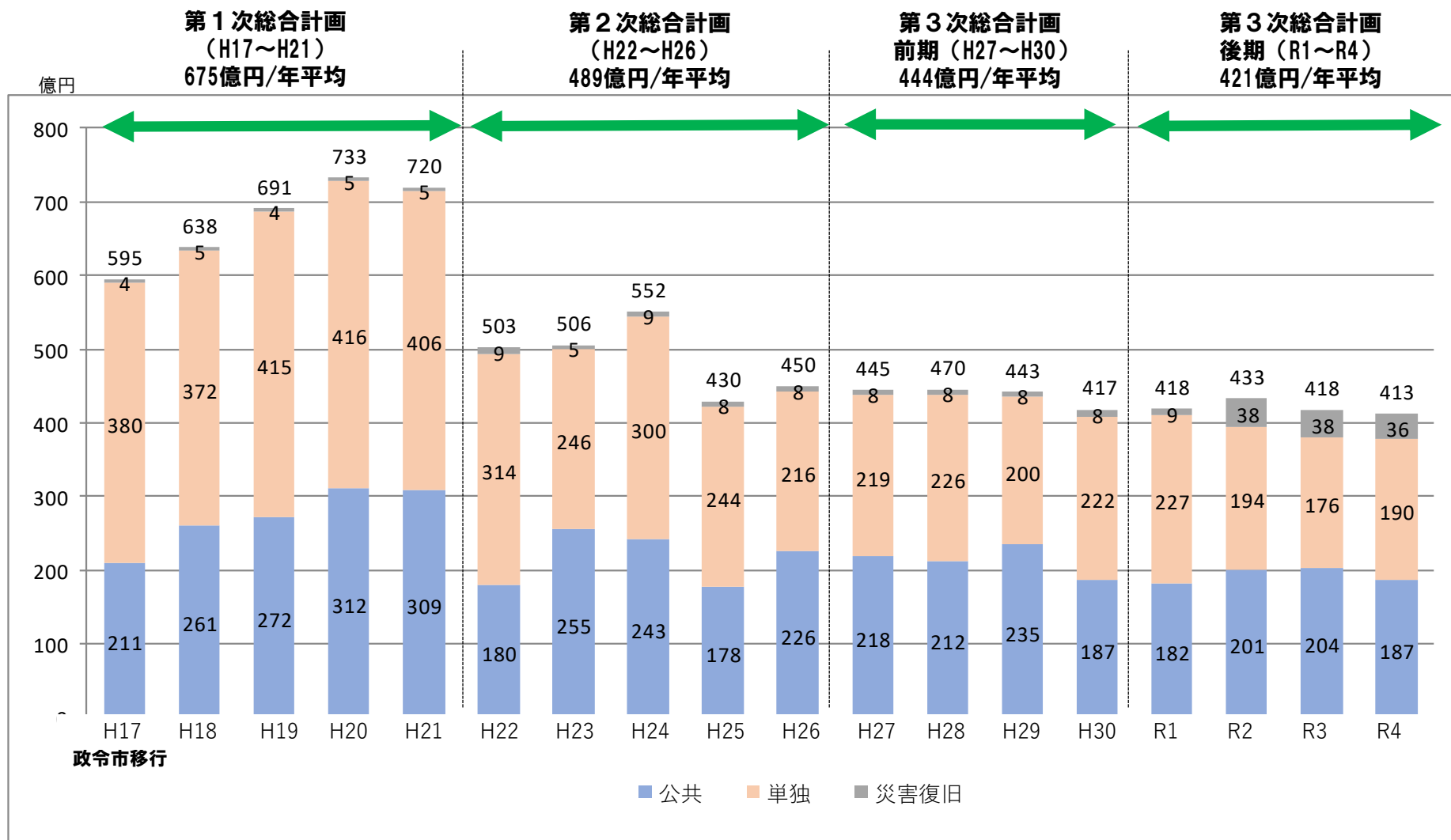
決算ベースで作成



静岡市

投資的経費の推移（当初予算ベース）

○ 投資水準を抑制しつつも一定額を確保



財政の中期見通し（令和4年2月公表）

○ 国の経済見通し等を基にした一定の条件により、令和4年度当初予算をベースに令和7年度までの財政収支を機械的に試算したもの。

1 試算の前提条件

(1) 期間及び対象

令和4年度から令和7年度までの一般会計予算

(2) 経済成長率

「令和4年度予算の後年度歳出・歳入への影響試算」(令和4年1月財務省)における名目成長率

令和4年度: +3.6% 令和5年度: +1.5% 令和6年度: +1.5% 令和7年度: +1.5%

2 試算方法

区 分		考 え 方
歳 入	市 税	名目経済成長率×弾性値（1.1）＋税制改正等影響分 （固定資産税・都市計画税は、個別に推計）
	地方譲与税・県税交付金等	名目経済成長率×弾性値（1.1）＋税制改正等影響分 （地方特例交付金は、個別に推計）
	地方交付税 （臨時財政対策債を含む）	現行制度を前提に推計 基準財政需要額は、臨時財政対策債元利償還額及び合併算定替の影響を考慮して推計 基準財政収入額は、市税等の増減に連動
	国・県支出金	原則として歳出推計額に連動
	市 債	原則として歳出推計額に連動
	その他の歳入	原則として令和4年度当初予算に特殊要因を加味して推計（財政調整基金等5基金からの繰入金は除く）
歳 出	人件費	新陳代謝等を踏まえ推計 退職手当は、現時点における退職者数の見込みに基づき推計 毎年の人事委員会勧告による影響額は反映していない
	扶助費	これまでの推移等を踏まえ個別に推計
	公債費	既発行分は積上げ 新規発行分は、10年債の利率1.0%を基準に推計
	投資的経費	第3次総合計画後期実施計画の進捗を踏まえ推計 災害復旧事業、その他の経費については、令和4年度当初予算をもとに推計
	その他の経費	原則として令和4年度当初に特殊要因を加味して推計 他会計繰出金は、個別に推計



3 試算状況

(単位:億円)

区 分		令和3年度 2月 現計予算	令和4年度 当初予算	令和5年度	令和6年度	令和7年度
歳 入	市 税	1,360	1,391	1,418	1,418	1,431
	地方譲与税・県税交付金等	309	301	307	306	314
	地方交付税(臨時財政対策債を含む)	435	362	324	322	304
	国・県支出金	1,088	825	811	796	826
	市 債	253	244	282	274	275
	その他の歳入	277	205	198	195	202
	歳入合計(A)	3,722	3,328	3,340	3,311	3,352
歳 出	人 件 費	756	771	766	763	763
	扶 助 費	769	783	805	823	845
	公 債 費	360	373	376	377	377
	投資的経費	430	413	499	468	482
	その他の経費	1,407	1,038	956	951	958
	歳出合計(B)	3,722	3,378	3,402	3,382	3,425

財源不足額(A-B)	0	△ 50	△ 62	△ 71	△ 73
基金充当額		50			

年度末基金残高見込額	213	163			
------------	-----	-----	--	--	--

年度末市債残高見込額	2,620	2,604	2,669	2,719	2,792
(臨時財政対策債込み)	(4,571)	(4,608)	(4,692)	(4,761)	(4,845)

経常収支比率	93.3%	93.7%	93.8%	93.9%	94.1%
実質公債費比率	6.2%	6.2%	6.4%	6.7%	6.7%

※満期一括償還方式で発行した市債の償還のための積立金は、償還したものとして市債残高から差し引いています。

4 今後の対応

・第3次行財政改革推進大綱(平成27～令和4年度)に基づく取組の実施

(事務事業の見直し・統廃合、官民連携の推進及び民間活力の活用、公共事業等のコスト縮減、自主財源の確保、
市債発行額の抑制・市債残高の適正な管理、地方公営企業の経営改善)

・アセットマネジメント基本方針(平成26～令和25年度)に基づく第1次アクションプラン(平成29～令和4年度)の着実な実施

・雇用拡大・就労促進・健康づくりなどによる扶助費(生活保護扶助費等)の大幅な増加への対応 ・利用可能な基金等の活用



静岡市

お問い合わせ先

静岡市財政局財政部財政課

〒420-8602

静岡市葵区追手町5番1号

TEL 054-221-1026

FAX 054-221-1749

E-mail zaisei@city.shizuoka.lg.jp

※ 本資料に掲載する内容について、無断複写・転載はご遠慮ください